

## 気候区民会議の意見提案に対する対応方針等

	目指す姿	対応方針	主な対応（7年度）
エネルギー	杉並区でエネルギーをつくり、区内でエネルギーをまかっているまち	<p>エネルギーの地産地消を進めるため、区民・事業者とともに区内の太陽光発電の普及に取り組む。</p> <p>区域内の発電では不足する再生可能エネルギーについて、他自治体との連携による供給を検討する。</p> <p>エネルギー利用の最適化に向けて、省エネや再エネの促進に向けて一人ひとりが考えて、行動に移せるように効果的な情報発信をはじめとした環境整備を行う。</p>	<p>○建築物再生可能エネルギー利用促進区域制度の導入や助成の拡充、区民や事業者等の参加による再エネ利用の普及や省エネ対策の推進につながる仕組みの検討等に取り組む。</p> <p>○ユース（中高生世代）を対象としたワークショップを実施し、気候変動対策に関する将来世代の意見をまとめ、広く情報発信していく。</p>
循環型社会	ごみの排出量が最も少なく、暮らしに関わる全てのもが杉並区内で完結する循環システムのあまるまち	<p>シェア・リペア・アップサイクルなどをはじめとした循環システムを区民・事業者とともに構築し、ごみ排出のさらなる抑制を進める。</p> <p>ごみ発生状況やリサイクル情報を可視化し、より多くの区民に伝えることで区民の環境意識を高める。</p>	<p>○リユース、アップサイクルを展開する事業者と連携し、区民がリユース等を身近に利用できる環境を整えるとともに、区民参画を視野に入れた循環システムの構築を検討する。</p> <p>○ごみや資源収集量の推移や、組成調査で得られたごみの内訳等を見える化し、資源循環に対する意識を高める。</p>
みどり	質の高い豊かなみどりを守り、育んでいるまち	区民一人ひとりが杉並のみどりに愛着を持ち、みどりに関して考えながら、みどりの取組を実践することを後押しする協働の仕組みづくりを行う。	<p>○一定の建築行為の際、基準を超える緑化へのインセンティブの付与や、民間施設のみどりを対象としたボランティア制度の創設を検討する。</p> <p>○300㎡以上の樹林の空白地（半径500m）での市民緑地整備の勧奨を検討する。また、空き家などの借地や土地購入による緑化を研究する。</p>
交通	だれもが環境にやさしい手段で移動したくなる、多様なモビリティが共存できるまち	<p>区内二酸化炭素排出量の約2割を運輸部門（自動車・鉄道）が占める中、「健康に良い」など「移動したくなる」仕掛けづくり・仕組みづくりとともに、クルマ利用から自転車・公共交通利用への転換を図る。</p> <p>今年度から始動する「杉並区産 MaaS」を基軸として、取組を推進する。</p> <p>旅客だけでなく貨物輸送も視野に入れ、インセンティブの付与やデータの連携・可視化など利活用に取り組む。</p>	<p>○杉並区産 MaaS「ちかくも」のコンテンツである「お出かけマップ」に、歩きたくなる道や施設情報等を表示し、地域の魅力発信やイベント参加を促す。</p> <p>○シェアサイクル・自転車駐車場の満空情報等を表示することに加え、経路検索の際は「環境にやさしい」「健康によい」等の選択肢を推奨する。</p>